

Title	中日における語意の異同
Author(s)	池澤, 稔; 何, 宝年
Citation	北海道教育大学紀要. 第一部. A, 人文科学編, 45(2): 61-69
Issue Date	1995-03
URL	<a href="http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/4317">http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/4317</a>
Rights	

## 中日における語意の異同

池澤 稔・何 宝年

### 本研究のねらい

漢字が日本に伝わってからすでに千数百年を経過している。漢字がなければ成り立たないといえるほど日本語には多くの漢字が用いられている。同じ文字を用いていることによって、中日両国の人々は相手の話していることば（音声言語）の意味がたとえ分からなくても、筆談（文字言語）を通してコミュニケーションを図ることができるという考えをもつことは自然なことである。しかし、時代の変遷と社会環境の相異は、用語（漢字）の表わす語意・用法の違いの幅を大きくしていったと考えなければならない。

用語の共通点と、表わす語意や用法の共通性が同等であると安易に考えることは、適切なコミュニケーションを行なう上で逆に支障となることを意識しておかねばならない。

中日両国の人々の今後の交流がスムーズに行なわれることの一助にすべく、中日両国で用いられていることば（漢字構成の用語）の語意・用法について調査・分類を行ない、その異同について考察する。

### I 研究の経緯

#### 1 用例の収集

用例を次の手法で収集した。

- 朝日新聞と北海道新聞の二紙（朝刊）のすべての記事の中から、きわだった特徴をもつと私が判断した用語を摘出した。期間は、平成5年10月から平成6年5月までの8か月間である。
- 日常生活で私が経験した会話に出てくる用語の中から、きわだった特徴があると私が判断したものを取り上げた。

#### 2 語意・用法の確認

次の辞典によって語意・用法を確認した。

- |            |         |
|------------|---------|
| ●『大辞林』     | 三省堂     |
| ●『日本国語大辞典』 | 小学館     |
| ●『大漢和辞典』   | 大修館書店   |
| ●『中日辞典』    | 小学館     |
| ●『中日辞典』    | 北京商務印書館 |

#### 3 分類

収集した用語の語意・用法の特徴に基づいて、次の二類八群に分類した。

〈一類〉語順が逆で語意が同じ用語

- ① 語意が同じか、類似している二つの漢字で構成された用語

② 語順の相違が両国の文法の相違による用語

〈二類〉 基本の用語と語順が同じで、語意が異なる用語（注：「基本」の概念は、ここでは「本字」のことである）

- ③ 基本の語意は同じであるが、敷衍された語意や比喩的な意味が相違する用語
- ④ 用語の一部の漢字の語意が異なることによって、全体の語意が相違する用語
- ⑤ 品詞が異なることによって語意が相違する用語
- ⑥ 用法に枠組みがある用語
- ⑦ 発音が異なることによって語意が相違する用語
- ⑧ その他（語意の重心の違い、特徴のなさ）

II 用語例（注：提示順は中日の順である）

〈一類〉 語順が逆で語意が同じ用語

① 語意が同じか、類似している二つの漢字で構成された用語

〔 和平	〔 命运	〔 介绍	〔 收买	〔 钻研	〔 压抑	〔 泄漏	〔 恶劣	〔 积累
〔 平和	〔 運命	〔 紹介	〔 買収	〔 研鑽	〔 抑圧	〔 漏泄	〔 劣悪	〔 累積
〔 纠纷	〔 搬运	〔 朴素	〔 牌位	〔 抚慰	〔 告诫	〔 容许	〔 痛苦	〔 称呼
〔 紛糾	〔 運搬	〔 素朴	〔 位牌	〔 慰撫	〔 戒告	〔 許容	〔 苦痛	〔 呼称
〔 究困	〔 顺从	〔 冯证	〔 盜窃	〔 回旋	〔 拥抱	〔 畜牧	〔 脱离	
〔 困窮	〔 従順	〔 証憑	〔 窃盜	〔 旋回	〔 抱擁	〔 牧畜	〔 離脱	

② 語順の相違が両国の文法の相違による用語

〔 贺年	〔 减轻	〔 执意	〔 结冰	〔 卖淫	〔 通奸	〔 罚一戒百
〔 年賀	〔 軽減	〔 意執	〔 氷結	〔 淫買	〔 姦通	〔 一罰百戒

〈二類〉 基本の用語と語順が同じで、語意が異なる用語

③ 基本の語意は同じであるが、敷衍された語意や比喩的な意味が相違する用語

圓滑	圓滑	円くて滑らかだ → 滑らかで角立たないさま → 如才がない、八方美人だ（良い意味で使わない）。
	円滑	円くて滑らかだ → 物事がとどこおりなくすらすらといくさま、順調だ（良い意味で使う）。
結束	結束	むすびつかねる → 終了する。終わる。終わらせる。
	結束	たばねる → 志を同じくする者が互いにかたく結合すること、団結。
錦繡	锦绣	錦と刺繡をした織物、美しい織物 → 美しいもの、輝かしいもの（山河、前途などについていう）。
	錦繡	錦と刺繡をした織物 → 美しい紅葉や花、うるわしい字句の詩文、詩文の巧みな思想。
結實	结实	実を結ぶ → 結んだ実が確實でしっかりしている → 丈夫だ、壮健だ。
	結実	実を結ぶ → 結んだ実 → 努力の成果。
蒸發	蒸发	液体や固体の表面から気化が起こる現象。
	蒸発	液体や固体の表面から気化が起こる現象 → 人がどこかへ行方をくらますこと。
轉身	转身	身を転ずる、体の向きを変える → 身を転ずる間 → またたく間に、あっという間に。
	轉身	身を転ずる、体の向きを変える → 身分・職業・生活方針などをすっかり変えること。

- 考究
  - 考究 研究する → 精巧で美しいことを求める → 華美である，豪華である。
  - 考究 考えきわめる，研究する。
- 鉄面
  - 鉄面 鉄が硬くて冷たい → 公正剛直で権勢を恐れない → 公正無私，情け容赦がない。
  - 鉄面 鉄製の仮面は何をしても表情が変わらない → 恥を恥とも思わないこと，厚かましい。
- 挫傷
  - 挫傷 手足などをくじく → 意欲，勢いなどをそぐ，くじく。
  - 挫傷 手足などをくじく。
- 収斂
  - 収斂 ちぢむ，ちぢめる → (笑顔や光線などが)消えてなくなる，言行を慎しむ，おとなしくする。
  - 収斂 ちぢむこと，ちぢめること。
- 奔騰
  - 奔騰 走りのぼる，かけあがる → 多くの馬が飛ぶように疾走する，勢いよく進む。
  - 奔騰 走りのぼる，かけあがる → 物価や相場が急に高くなること，急に騰貴すること。
- 鼓動
  - 鼓動 太鼓の響きで人を動かす → 扇動する，奮い立たせる，駆りたてる。
  - 鼓動 太鼓の響き → 心臓の律動的な動き，内面にひそむものが活力を得て動き出すこと，ふるえ動かすこと。
- 出頭
  - 出頭 頭を出す → 顔を出す，先頭に立つ，困難を脱する，ちょっと上回る，端数がつく。
  - 出頭 頭を出す → 官庁などの呼び出しを受けて出かけること，他より抜きん出ること，立身出世すること，主君のそば近くつとめること。
- 重鎮
  - 重鎮 軍事上の重要な都市，要衝 → 軍権を持って要職についた重臣 (古典)。
  - 重鎮 軍事上の重要な都市，要衝 → ある団体・社会などで重きをなす人物，大立て者。
- 揭示
  - 揭示 人目につきやすい所に掲げ示す → 取り出して見せる，ひそんだものを明らかにする。
  - 揭示 人目につきやすい所に掲げ示す，その示された文書。

④ 用語の一部の漢字の語意が異なることによって，全体の語意が相異なる用語

- 急用
  - 急用 用 = 入用。緊急の入用。
  - 急用 用 = 用件，用事。急ぎの用件。
- 信心
  - 信心 信 = 自分を信ずる。自信。
  - 信心 信 = 神仏を信ずる。信仰心。
- 暗算
  - 暗算 算 = たくらむ。(人を殺害したり陥れたりしようと) ひそかにたくらむ。
  - 暗算 算 = 計算。頭の中で (そらで) 計算する。
- 失職
  - 失職 職 = 職責。職責を果たさない，職務上の怠慢又は過失。
  - 失職 職 = 職業。失業。
- 緣故
  - 緣故 原因，わけ，理由。
  - 緣故 血縁や姻戚などによるつながり，またその人，縁。
- 公約
  - 公約 公 = 公で，皆で。三か国以上の国家の間で結ばれる条約，規約，申し合わせ。
  - 公約 公 = 公に。公に約束すること，特に選挙に際して政党又は候補者が当選後に実施することを約束した政策。
- 下水
  - 下水 下 = 入る，入れる，下る。水に入る，水に入れる，悪事を働く (喩)，川を下る。
  - 下水 下 = した。家庭や工場から捨てられる汚水や廃水および雨水。
- 較差
  - 較差 差 = 悪い。より悪い，比較的悪い。
  - 格差 差 = 差価。最高と最低又は最大と最小の差，(気象用語) 定期間内における観測値の最高と最低の差，日較差，年較差など。

- 合意
  - 合意 合＝合う。心に合う，気に入る。
  - 合意 合＝合わせる。心を合わせる，二人以上の者の意志が一致すること。
- 行楽
  - 行楽 行＝行う。楽しむ，楽しみをなす。
  - 行楽 行＝歩く。山野に出たりして遊び楽しむこと。
- 痛斥
  - 痛斥 斥＝しかる。ひどくしかりつける。
  - 痛斥 斥＝しりぞける。強く排斥すること。
- 翻案
  - 翻案 案＝既定の判決，評価など。判決をくつがえす，広く処分・評価・定論などをくつがえす。
  - 翻案 案＝原作の大筋。小説・劇曲などの原作を生かし，大筋は変えずに改作する。
- 歸還
  - 归还 返す，返却する，返還する。
  - 帰還 遠方の地から帰ってくること。
- 求人
  - 求人 求＝たのむ。人をお願いする，人にたのむ。
  - 求人 求＝求める。人を求める。
- 辞退
  - 辞退 退＝引かせる。解雇する，職をやめさせる。
  - 辞退 退＝引く。へりくだって断ること，遠慮して権利や地位などを放棄すること。
- 隔壁
  - 隔壁 壁を隔てる，隣，隣人。
  - 隔壁 物を隔てる壁，仕切り。
- 無心
  - 无心 心＝気，考え。～する気はない，何の考えもない，何の気なしに。
  - 無心 心＝こころ，欲心，遠慮。無生物や植物のように心を持たないこと，遠慮なく人に金品をねだること，心にわだかまりのないこと，雑念や欲心のないこと。
- 環視
  - 环視 环＝周りを。回りを見る。
  - 環視 還＝回りが。多くの者が取り囲んで見る。

⑤ 品詞が異なることによって語意が相違する用語

- 難聴
  - 难听(形) (音声が) 聞きづらい，耳障りである，(言葉が粗野で) 聞き苦しい，聞こえが悪い，外聞が悪い。
  - 難聴(名) 聴力が低下した状態。
- 差別
  - 差別(名) へだたり，格差，ひらき (見下す意味がない)。
  - 差別(名)(動) 偏見や先入観などをもとに，特定の人々に対して不利益・不平等な扱いをすること，またその扱い。
- 丈夫
  - 丈夫(名) 成年の男子，夫，主人。
  - 丈夫(形動) 壮健，外力が加わってもなかなかこわれないさま，いたみにくいさま。
- 古老
  - 古老(形) 古い，古い歴史をもつ。
  - 古老(名) としより，老人，特に昔のことをよく知っている老人。
- 当面
  - 当面(副) 面と向かって，じかに。
  - 当面(名)(動) 目の前に存在すること，今直面していること，さしあたり。
- 想念
  - 想念(動) 懐かしむ，懐かしがる，恋しがる。
  - 想念(名) 心の中に浮かぶ考え，おもい。
- 成就
  - 成就(名)(他動) 業績，重大事業の達成，(事業を) 達成する，成し遂げる。
  - 成就(自動) 願いなどがかなうこと，物事が望んだとおりに完成すること。

- 發覚
  - 发觉(他動) 発見する, 気がつく.
  - 發覚(自動) 隠していた罪・たくらみなどが人に知られること.
- 發現
  - 发现(他動) 見出す, 発見する, 気づく, 見つける.
  - 發現(自動) 表面に現われること, 顕現.
- 逼迫
  - 逼迫(他動) 強制する, 無理強いをする, 責めたてる.
  - 逼迫(自動) 行き詰まってゆとりがない状態になること, 苦痛が身に迫ること.
- 激怒
  - 激怒(他動) (刺激して) 怒らせる, 立腹させる.
  - 激怒(自動) 激しく怒ること.
- 杜絶
  - 杜绝(他動) (悪いことを) 途絶させる, 防ぐ, 防止する.
  - 杜絶(自動) 途中で絶えること, とだえること, ふさがること.
- 激動
  - 激動(自動) (感情が) 高ぶる, 興奮する, 感動させる.
  - (他動)
  - 激動(名) 激しくゆれ動くこと, 特に社会情勢などが急激に変化すること.
  - (自動)

⑥ 用法に枠組みがある用語

- 建立
  - 建立 建設する, 造り上げる, 築き上げる, 樹立する, (関係を) 形成する, 確立する.
  - 建立 寺院・堂塔などを建設すること.
- 献花
  - 献花 花束を捧げる
  - 献花 霊前などに花を供えること.
- 境内
  - 境内 境界線の内側, 国内, 省内, 県内などをさす.
  - 境内 境界より内側, 特に神社や寺院の仕切りの内側.
- 引導
  - 引导 引率する, 案内する, 導く, 導いて~させる, ~するように導く.
  - 引導 人々を導いて仏の道に入れること, 正しい道に導くこと, 葬儀の時僧が死者に解脱の境に入るように法語を与えること, 案内, 導くこと.
- 相好
  - 相好 仲がよい, 親友, 恋愛する (不倫の関係をさすことが多い), 愛人, 情人.
  - 相好 仏の身体にそなわっているすぐれた特徴, 三十二相とさらに細かい美点である八十種好をいう, 顔かたち, 表情.
- 案件
  - 案件 犯罪事件, 訴訟事件, 裁判事件.
  - 案件 問題となっている事柄, 調査審議をすべき事柄.
- 召喚
  - 召喚 呼ぶ, 呼びかける, 呼びかけ, (抽象的な場面に用いることが多い).
  - 召喚 裁判所が被告人・証人などに対し公判期日・その他一定の日時に裁判所又は指定された場所に出頭を命ずること.
- 告訴
  - 告诉 告げる, 教える, 知らせる.
  - 告訴 被害者が捜査機関に対して犯罪事実を申告し犯人の処罰を求める意思表示をすること.
- 傳票
  - 传票 召喚状. 金銭や物品の出入りなどを記載する一定の形式を供えた用紙.
  - 伝票 金銭や物品の出入りなどを記載する一定の形式を備えた用紙.
- 受理
  - 受理 (裁判所が事件を) 受理する, 受け付ける.
  - 受理 書類・届け・願い事などを受け付けること.
- 検討
  - 检讨 反省する, 自己批判する, 調査し研究する (主に学術上のものを対象とする).
  - 検討 物事を詳しく調べ考えること.

- 伎倆
  - 伎倆 芸当, 腕前, やりくち (悪いことに用いる).
  - 伎倆 物事を行うさま, 腕前, 手なみ.
- 慫恿
  - 怱恿 (よくないことをするように) そそのかす, 扇動する.
  - 慫恿 他の人が勧めてそうするように仕向けること.
- 嚴重
  - 严重 (よいことに使わない) 厳しい警告など, 重大である, ひどい, 深刻である, 由々しい.
  - 嚴重 厳しい態度で事に当たるさま.
- 造成
  - 造成 (悪い結果などを) 引き起こす, もたらす, きたす.
  - 造成 土地などを使えるようにつくりあげること.
- 指摘
  - 指摘 (過ちを指摘して) 非難する.
  - 指摘 全体の中からある特定の事柄を取り上げて示すこと.
- 養成
  - 养成 (習慣などを) 身に付ける.
  - 養成 教育あるいは訓練をして一人前に仕立てること, 養って育てること.
- 樹立
  - 树立 (主として抽象的且つ好ましい物事を) 打ち立てる.
  - 樹立 物事をしっかり作り立てること, 新しく作り上げること.
- 規律
  - 規律 法則.
  - 規律 集団生活において守るように定められたきまり, おきて.
- 建議
  - 建议 すずめる, 提案する, 意見を出す, 提案, 意見.
  - 建議 役所に意見を申し立てること.
- 好球
  - 好球 あらゆるたまのあるスポーツでよくやったたま.
  - 好球 野球で打者が打つのにいいたま.

⑦ 発音が異なることによって語意が相違する用語

- 便宜
  - piányi 値段が安い, 安価である, (労力によらない) 得, ちっぽけな利益, 目先の利益, うまい汁, (懲らしめずに) 穏便にすませてやる, (当然被るべき損を被らずに) 得をさせてやる.
  - biànyì 適宜 (に), 臨機応変 (に).
  - べんぎ 都合のよいこと, 便利のよいことそのときどきに応じたやり方, 特別なはからい.
- 大家
  - dàjiā みんな, みなさん, 著名な作家や芸術家, 名門, 名家.
  - たいか 学問・芸術・技能などの面で特にすぐれ名声の高い人, 巨匠, 大きな家, 金持ちの家, 家柄のよい家.
  - おおや 貸し家の持ち主, 家主.
- 地道
  - didao 本場の, 名産地の, 正真正銘の, 真実の, 生粋の, 本物の, (仕事) 確かである, しっかりしている, よい.
  - didaō 地下道.
  - じみち 手堅く着実に物事をする事, 地味で堅実なさま.
  - ちどう 大地に備わった道理, 大地の法則, 地下道, トンネル, 地球の運航する道.
- 工夫
  - gōngfu (費やされる) 時間, 暇, 方, とき, 技量, 腕前.
  - くふう いろいろと考えてよい手段を見いだすこと, 考え出した方法, 手段, 禅宗で修行に励むこと, よく考え研究すること.
  - こうふ 工事で働く労働者.

⑧ その他 (語意の重心の違い, 特徴のなさ)

- 念頭
  - 念头 (語意の重心が「念」にある) 考え.
  - 念頭 (語意の重心が「頭」にある) 頭の中.
- 應酬
  - 应酬 交際する, (客に) 応対する, 応接する, もてなす, 私的な宴会, 付き合い.
  - 应酬 意見・議論などを互いにやりとりすること, また相手のやり方にこたえてやり返すこと, 書状・詩歌などの返しをすること, またその返事や返歌, 酒席での杯のやりとり.
- 怠慢
  - 怠慢 そっけなくする, 冷淡にあしらう, もてなしがふゆきとどきである.
  - 怠慢 なまけおこたること, なまけてするべきことをしないこと.
- 用心
  - 用心 心をこめる, 身を入れる, 了見, 意見, 下心, 心がけ.
  - 用心 万一に備えて警戒注意すること, 気をつけること.
- 開票
  - 开票 開票 (する), 領収書・送り状や注文書などを書く.
  - 開票 投票箱を開いて投票の結果を調べること.
- 處決
  - 処決 死刑を執行する, 処理し決定する.
  - 処決 はっきりと処置をつけること.
- 敷衍
  - 敷衍 いいかげんにあしらう, お茶を濁す, おざなりにする, どうにか持ちこたえ (させ) る.
  - 敷衍 のべひろげること, ひきのばすこと, 展開, 意義を広くおしひろげて説明すること, わかりやすく詳しく説明すること.
- 提示
  - 提示 ヒントを与える, 思いつかせる, 助言する, 注意を与える.
  - 提示 その場に持ち出して人にわからせること.
- 合同
  - 合同 契約.
  - 合同 二つ以上の物が合わさって一つになること, また一つにすること.
- 用意
  - 用意 意図, つもり, 下心.
  - 用意 ある行為・行動をする前にあらかじめ必要なものを取りそろえること, 準備, したく.
- 得体
  - 得体 (言動が) 適切である, 妥当である, 身分や場所にふさわしい.
  - 得体 真の姿や考え, 本当のこと.
- 供應
  - 供应 供給 (する), 需要を満たす
  - 供应 酒食を供して他人をもてなすこと.
- 光景
  - 光景 目に映る景色や物事のありさま, 状況, 様子, 経済, 生活状態, どうやら, ころ, くらい.
  - 光景 目に映る景色や物事のありさま, 日の光.
- 通報
  - 通报 通報 (する), 通達 (する), (党や政府機関・社会团体などが所属機関・団体に活動情况又は経験や教訓を知らせる文書) 回状, 回報, (科学研究の情况や成果を報道する雑誌名).
  - 通报 告げ知らせること, 通知, 報知.
- 作為
  - 作为 行い, 行為, 成果, 成績, 貢献, ~として, ~の資格で.
  - 作为 あることに見せかけようとわざと人の手を加えること, つくりごと, つくること, こしらえること, 人の行為のうち積極的な行為・挙動 (法).
- 了解
  - 了解 わかる, 知る, 調べる, 尋ねる.
  - 了解 事情を思いやって納得すること, 理解すること, のみこむこと, 了承, 領解, 領会.
- 交代
  - 交代 (仕事などを) 引き継ぐ, 言いつける, 言い聞かせる, 説明する, はっきり述べる, 釈明する.
  - 交代 入れかえること, 入れかわること.

### Ⅲ 考 察

用語が漢字によって構成されているのを見ると、漢語をそのまま導入している場合と日本語の語順によって構成している場合とがあることがわかる。漢語をそのまま導入している場合には、時代の変遷等による語意・用法の相違が生じることは必然としても、基本的な語意の共通性は失われることはないと考えられる。それに対して、日本語の語順で構成している用語の場合は、一つ一つの漢字は同じであっても用語としての語意・用法は基本的に日本語であるから、中国語との共通性を求めることは困難である。したがってこの種の場合には、筆談によるコミュニケーションの成立を図ることは難しいと考えなければならない。

基本的な語意に共通性があるものの、その語意から他の語意が派生する過程には、民族性や生活習慣、自然・風土の特性とのかかわりがあることを十分考慮しなければならない。ことばが文化であるといわれるゆえんもそこにあるわけであるから、漢語をそのまま導入した用語であっても、その用語はことばとしては日本語になっている事実を踏まえなければならない。日本語として定着する過程において新たな語意が派生する状況については、別の機会に調査することにしたい。

ことばを使用する際に品詞を自覚する作用が両国民の間で大きな相違を示していることは興味深い。語順によって文中における語の役割（動詞・目的語等）が定まる中国語に対して、日本語では他の語との連続の役割をになう活用形や助詞の存在によって、語順にかかわらず文中における語の役割を示すことができる。したがって語順は多分に恣意的でありうるように見えるし、品詞（文中における語の役割）も、イメージや論理の都合に合わせて、特定品詞化の語尾をつけることによって自在に変身していく。このことは、ことばの可能性を広げているように見える一方で、表現されているはずの内容を曖昧にするということにもつながっていると思われる。

日本語には使用範囲の限定されているものがある。いわゆる「役所ことば」が卑近な例であるが、この「役所ことば」には使用範囲の限定というほどの特異性があるとは思われない。ところが、皇室に関すること、宗教に関すること、法令に関することにおいては、そのこと以外に用例はないと断定できるものがあるようである。この種の用語には一部漢語に由来するものもあるが、筆談によるコミュニケーションには困難な部分であると考えられる。

価値判断を含む用語は中国においても日本においてもみられるものである。価値基準が文化に根ざすものと考えられる立場からすれば、同一の漢字を用いた用語が示す事柄や状況が必ずしも同一のカテゴリーにくくられるという保証はないことになる。むしろ文化の相違から全く逆の判断を含む用語になる場合もあると考えられることの方が自然である。

日本語は音声言語の際のアクセントやイントネーションに無頓着であるという印象を受けることが多い。例えば「はし」や「あめ」といった同音異字の語においては、アクセントを意識している面も感じられるが、ほとんどの場合同音異義語の特定化はコンテキストに依存しているといえそうである。アクセントやイントネーションに対する無頓着性は、日本語が音声言語としてよりも文字言語として、より機能しているということを感じさせる。

### 詰 語

用語の収集が十分ではなく、今後その量を多くすることによってより精細な分類が可能になるものと考えられる。

中国における略字化、日本における常用漢字（使用制限）や外来語・専門用語のための新造語など、漢字

の変質を実感する面も多い。こうした変化も、漢字が本来もっている「表意・表音」という機能及びその機能から生まれることばとしてのすぐれた造語性や記号性に依っていると考えられる。漢字のもつこうしたすぐれた特性は、読み書きの困難性という負の特性を補ってあまりあると考える。

本稿で取り上げた漢字用語における語意・用法の相違の分類が、中日両国民の適切なコミュニケーションの成立に役立つとすればこの上ない喜びである。

## 付 記

何宝年氏は、中国南京師範大学から本学旭川校に研究生（日本語・日本文化研修留学生）として、1993年10月から1994年7月までの10か月間留学した。研究テーマは、「中日における用語の語意・用法の異同」。漢字、熟語の意味の異同だけでなく、動詞や助詞の用法が語意と密接にかかわっている点についても、用例を収集して明らかにしようとしている。本稿はこの間の研究の成果の一部をまとめたものである。大方の御叱正を請う。（池澤）

本稿を書くに当たって、旭川校の教官各位の御指導とともに、ホームステイその他旭川市民のみなさんの温かいはげましが大きな支えとなりました。記して感謝の意を表します。（何）

1994年7月

（池澤：本学教授旭川校）

（何：中国南京師範大学講師本学旭川校研究生）